

平成22年度 第9回安城市定例教育委員会会議録

日 時 平成22年11月18日(木) 午後1時30分

場 所 安城市役所 第10会議室

出席した委員 杉浦辰子 委員長
鳥居勇夫 委員長職務代理者
大見 宏 委員
榊原ちさと 委員
本田吉則 教育長

出席した職員 石川義彦 教育振興部長
都築昭彦 生涯学習部長
神谷敬信 生涯学習部次長兼生涯学習課長
平岩八尋 総務課長
杉山春記 学校教育課長
岩瀬慎次 給食課長
杉浦講平 体育課長
加藤喜久 中央図書館長
杉山洋一 文化財課長
宮川 守 総務課課長補佐

傍 聴 者 なし

開 会 午後1時37分

日 程

第 1 前回会議録の承認

平成22年11月4日開催の定例教育委員会会議録を承認

第 2 委員長、教育長等の報告

<委員長>

11月 7日 中央図書館開館25周年記念事業
安美展表彰式

11月11日 安城幼稚園研究発表会

11月15日 市政懇談会

11月16日 西三河地方教育事務協議会委員長・教育長会議

11月18日 市総合計画審議会

<教育長>

- 1 1 月 5 日 安城高校創立 9 0 周年記念式典
現職教育訪問（安城北部幼）
- 1 1 月 6 日 子育て支援地域交流会西三河地区推進大会
（豊田市）
- 1 1 月 7 日 中央図書館開館 2 5 周年記念事業
安美展表彰式
- 1 1 月 8 日 現職教育訪問（東栄幼）
- 1 1 月 9 日 学校給食共同調理場運営委員会
作手高原野外センター閉村あいさつ
- 1 1 月 1 0 日 十日会
市制 6 0 周年記念事業実行委員会
市政懇談会
- 1 1 月 1 1 日 中心市街地拠点施設計画検討委員会
安城幼稚園研究発表会
- 1 1 月 1 2 日 愛教大付属岡崎養護学校研究発表会
- 1 1 月 1 3 日 学芸会（安城北部小）
- 1 1 月 1 6 日 西三河教育長会議
西三河地方教育事務協議会委員長・教育長会議
- 1 1 月 1 7 日 定例校長会
三河部都市教育長協議会（高浜市）
- 1 1 月 1 8 日 市定例幹部会
市総合計画審議会

以上に出席しました。

第 3 議 題

な し

第 4 報 告 事 項

(1) 平成 2 3 年安城市成人式について

報告事項（1）について生涯学習部次長説明する。

（質疑なし）

(2) 生涯学習部所管施設の上半期利用状況について

報告事項(2)について生涯学習部各課長説明する。

大見委員：スポーツセンターのトレーニングルームの利用者が倍近くになっていますが、かなり増えているということで、増えるのはいいんですが、増えるとトレーニング機器がなかなか使えないとか、そういった苦情がくるとは思いますがいかがですか。

体育課長：苦情などは今のところ聞いていません。ただ、今言われますように、たくさん使いますので機器が壊れることが結構あります。スポーツセンターは10年位経ちますので、機器の更新は予算でお願いしていく予定です。

委員長：歴史博物館と市民ギャラリーのところに、延べ入館者数と入館者数とありますが、どのように違いますか。

文化財課長：入館者数は、その施設に入っていたいただいた単純な人数です。延べは、たとえば企画展もご覧になり、常設展もご覧になれば2とカウントします。市民ギャラリーでも、たとえば1階の展示をご覧になって、2階の別の展覧会をご覧になれば2と数えます。いわゆる展覧会ごとの観覧者数というカウントをしますので、あるいは、それ以外に体験講座であるとか、そういうことも併せて体験していただければ、一人の人で3つカウントするケースもあり、延べという人数はそういう捉えかたです。

委員長：展示室観覧者数と入館者数はどのように違いますか。

文化財課長：展示室観覧者数は、常設展と企画展の観覧者の両方を足した人数です。それ以外の、たとえばミュージアムコンサートに来ていただいたとか、あるいは映画会に来ていただいたとか、そういう方も含めると述べ入館者数になります。

委員長：それぞれ公民館の人数を出していただきますが、毎年、西部公民館は寂しい状況ですが、施設ごとの公民館のお便りというか、こんな企画してますからいらっしゃいとか、そういうものは出されないのですか。

生涯学習部次長：西部公民館は、今年から再任用館長になりまして、再任用館長のところには、コーディネーターを公募して採用しています。今、西部公民館においては、「きらりん」という機関紙を出していま

して、それが地区の町内会等に回っているかと思えます。いつどうい
うイベントがあるか報告しています。ホームページにも写真付きで終
わった行事を掲載していますので、広報については行き届いてきてい
るのかなと思えます。行く行くは10館全ての所にコーディネーター
を配置していきたいと考えています。再任用館長は5日勤務ではなく
4日で一日少ないものですから、その辺をカバーする意味と、地域の方
と密着するということでコーディネーターを採用していますので、
今後少しずつ増えてくるのかなと思えます。

(3) 第31回安城選手権冬季スキー競技会について

報告事項(3)について体育課長説明する。

(質疑なし)

(4) 平成22年度安城市中央図書館特別図書整理期間について

報告事項(4)について中央図書館長説明する。

(質疑なし)

(5) ミュージアム・スポット「少年少女漫画雑誌の歩み」の開催につ
いて

報告事項(5)について文化財課長説明する。

委員長：今はやりの「ゲゲゲの女房」までは持ってくるわけにはいかな
かったわけですね。昭和40年で止まってしまったわけですね。結局、
古いものを見ることによって、ああ懐かしいなという郷愁に浸ればい
いわけですか。この展覧会の目的は何ですか。

文化財課長：月刊誌から週刊誌へ変わるというのは、世の中の流れのは
やさが、子どもの雑誌の世界にも週刊誌へ変わっていくという大きな
流れがあったということです。これは、テレビの普及もありまして、
1カ月先にならないと、次の号の続きが読めないというサイクルでは、
どちらかといえば時流として遅れてしまうような社会状況も含めて、
懐かしくご覧をいただけたらと思っています。

委員長：時代の流れをここで振り返るということですか。私は思いますが、
展覧会というのは、時代が変わってもつながっていかなければいけ
ないような人々の営みというか、そういうものを通して伝えていき
たいというひとつのねらいがあると思います。

教育長：これは、見るだけですか。手に取って中を見ることができま

か。

文化財課長：博物館協議会の中でも、具体的に雑誌が手に取れるようなことも考えて欲しいという要望もありますので、たくさんは用意できないと思いますが、何冊かは実際に雑誌を手に取れるようなこともやりたいと思っています。古い漫画雑誌で表紙の絵であるとか、人気のある漫画が掲載されている雑誌は、プレミア付きで漫画を集めているお店でも販売をしていますが、物によっては非常に高いです。たとえば少年サンデーの創刊号、表紙は長嶋茂雄ですが、これは博物館で購入したのですが、確か3万円で購入しました。創刊号は高いです。

委員長：そこにあるだけではなくて、手にとって印刷の具合だとか、紙質などを触ることもいいのかなと思います。

文化財課長：数冊になると思いますが、実際に手に取れる雑誌も用意します。

教育長：解説はありますか。

文化財課長：月刊誌から週刊誌化への流れ等の時代背景の部分を説明するパネルはあります。こういった傾向の雑誌であったとか、あるいは月刊誌の時代は、何大付録というような付録が膨らんだ形で販売していましたので、付録も展示をします。

第 5 その他

鳥居委員が、災害時に避難所となる公民館に保管してある薬剤等の管理の徹底についてお願いされ、生涯学習部次長が避難訓練においてその公民館に参集する職員が、薬剤を含めた防災用物品を確認していること、避難所班の責任者である生涯学習部長が、ご意見があれば連絡いただきたい旨説明した。

閉 会 午後 2 時 1 2 分